News Release

GLASS FOR FUTURE
日本電気硝子

2016 年 9 月 14 日
日本電気硝子株式会社

東旭光電科技・福州東旭光電科技との合弁について

～　中国における薄型パネルディスプレイ用板ガラスの加工事業で　～

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：松本元春）は、中国の東旭光電科技股份有限公司、及びその１００%子会社である福州東旭光電科技有限公司との間で、薄型パネルディスプレイ（ＦＰＤ）用板ガラスの加工合弁事業に合意しました。このたび、本件に関し企業結合に係る中国独占禁止法上の申請が当局に受理され、審査の手続きに入ることになりましたので、お知らせいたします。

当該合弁事業は、現在中国福建省で工場建設を進めている中国最大級のＦＰＤメーカー、京東方科技集団（ＢＯＥ）の福州工場向けにＦＰＤ用板ガラスを加工し、供給することを主たる目的としています。上記２社との合弁により投資リスクを分散しつつ、中国市場の拡大に対応してまいります。

なお、当該合弁事業においては、全て当社グループで生産した原板(適正サイズにカットする前のマザーガラス)を使用し、顧客の要望する仕様・サイズに加工されます。

＜事業の概要＞

社名	福州旭福光電科技有限公司
所在地	中華人民共和国福建省福清市
出資比率	当社：４０%　　東旭光電科技：１０%　　福州東旭光電科技：５０%
事業内容	Ｇ８.５級ＦＰＤ用板ガラスの加工及び販売
総投資額	約７億人民元
生産開始時期	２０１７年６月頃（予定）

＜合弁当事者の概要＞

	東旭光電科技股份有限公司	福州東旭光電科技有限公司 （東旭光電科技の 100%子会社)
主要事業	ＦＰＤ用板ガラス事業、製造設備事業	ＦＰＤ用板ガラス事業
本社所在地	河北省石家荘市	福建省福清市

日本電気硝子株式会社　〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目７番１号
《リリース内容に関するお問い合せ》
総務部 広報担当　電話：077-537-1702（ダイヤルイン）